



◆ ご挨拶

会員の皆様から平素より我が機構に多大なご協力を賜り、感謝すると同時に大変喜んでおります。

しかしながら9月1日の理事会の場で、この会報やホームページに於いて機構の活動内容等、会員の皆様に十分にご理解ご認識を頂ける広報活動が行われているのか、という反省がなされ、今後は必要予算を講じながらそれらを充実していくことを理事会で審議され、決議されました。

それをもって会報の定期発行の順守やホームページの更新といったことは当然であります、それと共に内容の充実をも図っていかねばなりません。

機構の活動はもとより会員各社様のご紹介や、会員間で共有する情報やトピックス等、一步一步となりますが幅広く掲載していく所存です。

そのために原稿のお願いやインタビューにお伺いすることもありますので、これからもよりご協力を賜る機会が多々あるかと思っておりますが、その節は宜しくお願い申し上げます。

副理事長 小山昌孝

◆ トピックス

「ダイノワールド 2015 ヨコハマ恐竜博」（主催：ダイノワールド実行委員会、協賛：株式会社キリン・株式会社タカラトミー・Galaxy、後援：横浜市・横須賀市・浜松市・横浜観光コンベンション・ビューロー）が2015年7月18日～8月31日にパシフィコ横浜 A ホールにて開催されました。総来場者数は204,244人（過去の最高記録19万人）を数え、単日最大来場者数：9400人（過去の最高記録6000人）と、夏休み中ということもあって大好評で我がCPO-JPのメンバーも子供連れで多数見学に訪れました。



入場待機の列

会場前から隣のホールまで続く列！列～この列の後は場外までと、長い列が続いています。



以下はこの催しのダイノワールド実行委員会チーフプロデューサーであり、CPO-JP ビジネス・クリエーション部会長の株式会社グリフォンエンタープライズの鈴木良征氏からのコメントです。

「これまで隔年で開催されていた恐竜展にグリフォンエンタープライズも協賛として参加をしておりましたが、もっと子供たちが楽しくなるような恐竜展を・・・もっとエンターテイメントに・・・と、常々感じておりました。

映画ジュラシック・ワールドの放映を機に、実行委員会名義ではあるものの単独主催ということで緊張と不安が募る中、応援していただいた方々の支えにより、過去の恐竜展の総来場者数、単日来場者数ともに過去最高記録を更新。さらに会期中にその記録を塗り替えるという快挙を達成することができました。

今回の恐竜博は、これまでの恐竜展示会を根底から覆すエンターテインメント性の極めて強いものにしようというコンセプトが根底にあり、「すごかった」ではなく「楽しかった」といっていただけるようなイベントにするべく、ヴァーチャルリアリティやディラッドスクリーン等を仕様したアトラクション、恐竜グッズを並べた縁日などを企画し、コンセプト通りの反響を得たと感じています。

またこれまで行っていなかった、みなとみらい地区の企業との大がかりなコラボレーションとして、横浜ブルク13・日清カップヌードルミュージアム・ランドマークタワー・ダイノワールドと JR 桜木町駅からパシフィコ横浜会場までのルートすべてに大型恐竜模型を配置し、共通チケットの販売等を実施して多大な反響を得たとの報告も受けました。

来年、再来年の企画も現在進行しており、横浜観光コンベンション・ビューロー特別会員という立場も含め、横浜市へ観光誘致できるイベントの一つとして今後も活動を行っていきたいと考えております。」



トルボサウルス

世界初公開のトルボサウルス全身骨格！

これまで部分的な化石しか発見されていなかったトルボサウルス。世界で最初の1体目がこちらの化石。終了後には研究機関へ輸送される予定のため、今後実物を見ることができない可能性もあったからか、ほぼすべての来場者がこの前で記念撮影をしていました。



原寸大アロサウルスロボット

ロボット機構内臓で迫力のある動きを実現！

こちらも多くの方が記念撮影をしていました。

去る9月1日に開催された日本コンテンツ振興機構第二回理事会の議事録を掲載致します。

一般社団法人 日本コンテンツ振興機構

平成27年度 第2回理事会議事録

平成27年9月1日16時00分、東京都中央区日本橋箱崎町19番21号 日本アイ・ビー・エム株式会社1Fにおいて、理事11名（内、委任状4名）（総理事数16名）のもとに、理事会を開催し、下記議案につき可決確定の上、17時30分散会した。

■審議事項

第1号議案 「iShaDo」「ProMorph」の技術検証について

議長は、「iShaDo」「ProMorph」の技術検証を行うこと、および、以下の内容を1～3の窓口を事務局にて、4～5の窓口を技術委員会にて行うことについて、その承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

- 1 事務局にて、伊藤はくぶん氏との支給条件の取決め
 - 1.1 2016年3月末までの使用期間
 - 1.2 契約書の締結
- 2 事務局にて、会員社への「iShaDo」「ProMorph」配布するための取決め
 - 2.1 CPO-JPと会員会社間の機密保持契約等の確認
- 3 事務局にて、会員社へ「iShaDo」「ProMorph」配布
 - 3.1 配布方法の検討
- 4 技術委員会にて、「iShaDo」「ProMorph」に講習会開催
- 5 技術委員会にて、「iShaDo」「ProMorph」検証結果のアンケート集計と報告

第2号議案 事務局への事務局費用支払いについて

議長は、以下の内容を説明報告し、その承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

平成27年9月より事務局である株式会社スタジオディーンへ事務局費用として月額10万円を支払う。

■報告事項

技術委員会報告

各社見学会開催、伊藤はくぶん氏の持つ技術の検討について

事業委員会報告

新事業展開実現可能性調査事業の紹介

会計報告

平成27年8月18日時点での会計報告

広報関連報告

広報を強化するためのホームページ・会報の改善報告

- 1 次回運営委員会までに取り決めたものを報告
- 2 各会員に会報や広報、ホームページ等で掲載する情報や記事出稿などの協力要請
- 3 会報は編集長を小山氏とし、毎月1回を発行

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、17時30分閉会した。

【事務局より】

次回の運営委員会は10月20日（火曜日）16:00より、IBM様にて行います。

宜しくお願いいたします。

ご意見・ご感想は下記の事務所までご連絡ください。

編集責任者 専務理事 野口 和紀

一般社団法人 日本コンテンツ振興機構

〒180-0003 東京都 武蔵野市 吉祥寺南町 4-4-13 TEL:0422-35-3305 FAX:0422-70-3073